

高知県総合防災情報システム構築業務 事業概念図（確実な情報の収集体制と多様な伝達体制の構築のため4つのシステムを新整備）

事業概要

風水害や南海地震でも情報の収集や共有、広報等の防災業務を継続し、住民の皆様や県、市町村がそれぞれの防災活動に活用できるように総合防災情報システムの機能を強化して更新します。

取得・配信情報一覧（予定）

避難指示・勧告状況、被災状況・避難状況、アメダス情報、砂災害警戒情報、水防観測情報、河川監視カメラ情報、四国地方整備局カメラ情報、国民保護情報

情報連携機関名（予定）

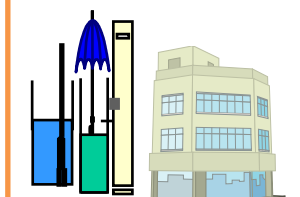
市町村、高知地方気象台、消防庁、県内放送事業者及びCATV事業者、通信事業者

市町村



避難勧告、避難指示等

気象庁



津波、洪水等のデータ配信

消防庁



国民保護情報

県土木事務所



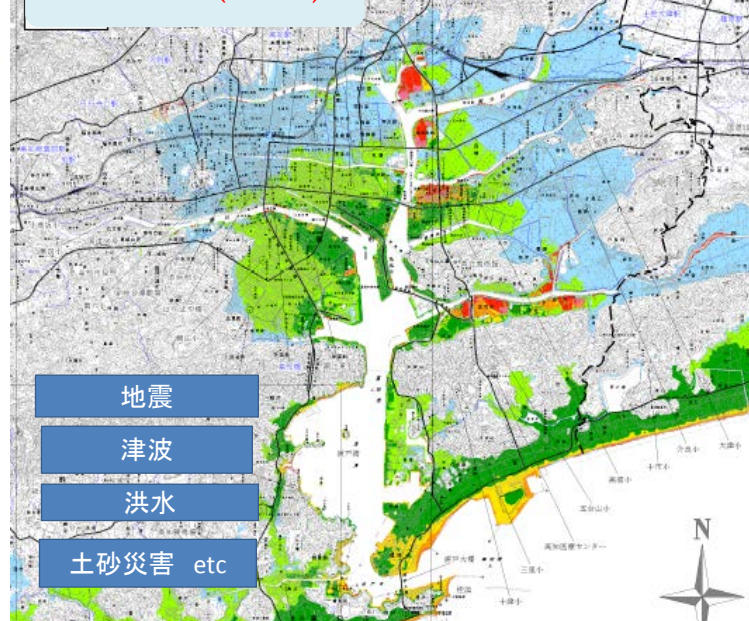
現地報告

防災情報基幹業務システム (NEW)



災害報告、広報、気象情報伝達及び関係機関との連携機能などリアルタイムな情報を提供

防災マップ (NEW)



地域に潜む危険をマップ機能で提供

災害対策本部支援 (NEW)



タブレット端末を利用した現地報告で被害状況を共有

安否確認システム (NEW)



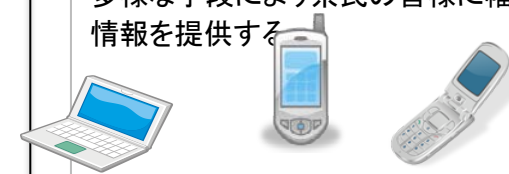
職員安否システムで職員の状況を把握し、初動体制を迅速に確立

防災情報基幹業務システムに公共情報コモンズを導入

住民

- ・テレビ
- ・ラジオ
- ・パソコン
- ・スマートフォン
- ・エリアメール
- ・緊急速報メール
- ・Twitter 等

多様な手段により県民の皆様幅広く情報を提供する



情報配信メディア

- 放送事業者
- ・テレビ
 - ・ラジオ



- 携帯電話事業者
- エリアメール
 - 緊急速報メール

